

令和5年度自動車整備士技能検定実技試験

〔自動車車体整備士〕

問題用紙

令和5年12月10日

受験番号	第	号	氏名	
------	---	---	----	--

〔注意事項〕

1. 受験番号及び氏名を該当欄に記入して下さい。
2. 問題の中には解答の記入を必要としているものもあります。解答の記入は問題用紙の該当欄に記入して下さい。ただし、**思考席では記入しないで下さい。**
3. 問題用紙の余白部分には自由に記載することができます。
4. 故障を設定している問題については、問題中に特段の指示がない限り、**重複故障はないこととします。**
5. 試験終了後、この問題用紙を回収します。

〔不正行為等について〕

1. 携帯電話等の電子通信機器類は、試験会場に入る前に必ず電源を切って、カバン等に入れておいて下さい。
2. 試験時間中（試験会場内）において、携帯電話等の電子通信機器類を使用した場合は、不正行為があったものとみなし、当該試験を無効とする場合があります。
3. その他、試験員の指示に従って受験して下さい。

【問題 1】

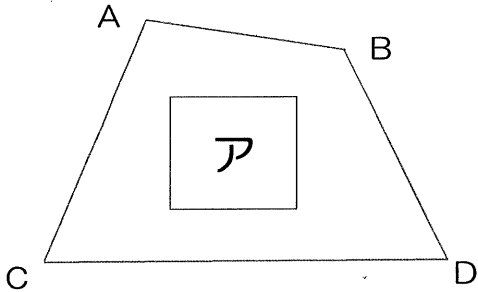
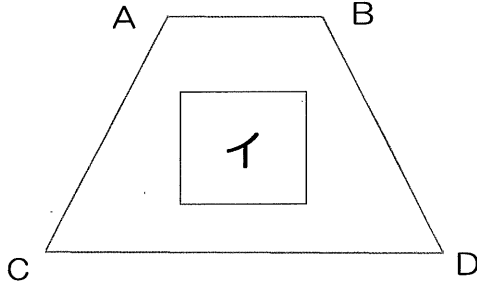
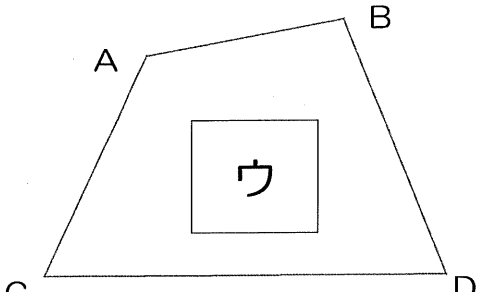
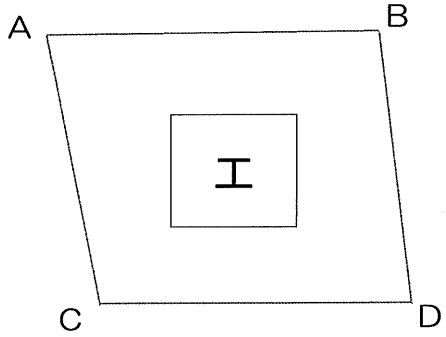
(1-1)

床上の模型は自動車の車体の一部を模したものです。次の各問いに答えなさい。

問 1. トラッキング・ゲージ又は巻き尺を用いて指定された点の中心間の距離を測定し、測定値欄に数値を記入しなさい。なお、測定値はミリ・メートル未満を切り捨てとする。

測定箇所	測定値
A - B間	mm
A - C間	mm
A - D間	mm
B - C間	mm
B - D間	mm
C - D間	mm

問 2. 問 1 の結果から各点の位置関係を図から選び、ア、イ、ウ、エのいずれかを○で囲みなさい。

	
<p>A - C間のほうがB - D間より長い</p>	<p>A - C間とB - D間は同じ長さ</p>
	
<p>A - C間よりB - D間のほうが長い</p>	<p>A - B間のほうがC - D間より長い</p>

【問題 2】

(2-1)

机上にセットされた鋼板の変形をハンマリングで修復する作業について、次の各問いに答えなさい。
なお、必要事項は台上にある留意事項に記載しています。

- 問 1. 机上に準備された工具から、ハンマ・オフ・ドリル作業を行うのに最も適切な工具を選択し、実際にハンマ・オフ・ドリル作業を採点員に提示しなさい。
- 問 2. 机上に準備された工具から、ハンマ・オン・ドリル作業を行うのに最も適切な工具を選択し、実際にハンマ・オン・ドリル作業を採点員に提示しなさい。
- 問 3. 机上に準備された工具から、絞り作業(絞りハンマリング)を行うのに最も適切な工具を選択し、実際に絞り作業を採点員に提示しなさい。

【問題3】

(3-1)

ここにある自動車のドアについて、次の各問いに答えなさい。
 なお、必要事項は台上にある留意事項に記載しています。

問1. 右前（運転席側）ドアにマーキングしている①～③の隙間を下表の順番に測定し、小数点第1位（小数点以下第2位を切り捨て）までの測定結果を記入しなさい。また、測定した結果から良否判定を行い、点検結果欄の良又は否のいずれかを○で囲みなさい。

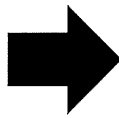
測定順	測定箇所	測定結果	点検結果
1	ピラー部	mm	良 ・ 否
2	ヒンジ付近	mm	良 ・ 否
3	ラッチ付近	mm	良 ・ 否

問2. 左後（助手席後方）ドアの各測定箇所の寸法が下表の測定値のとき、適正に調整するために最も適切な調整箇所及び調整方向をそれぞれ一覧から選択し、回答欄に記入しなさい。

測定箇所	隙間		段差	
	測定値	建て付け寸法（基準値）	測定値	建て付け寸法（基準値）
A	5.3mm	3.5～6.5mm	4.3mm	1.2～5.2mm
B	6.4mm	6.4mm	5.5mm	3.5～5.5mm
C	5.0mm	3.8～6.2mm	0mm	-1.2～1.2mm
D	4.5mm	3.0～6.0mm	4.0mm	-1.5～1.5mm

【調整箇所】

- ① ヒンジ（ボデー側ボルト）
- ② ヒンジ（ドア側ボルト）
- ③ ドアストライカ（取り付けスクリュ）



【調整箇所】 回答欄

【調整方向】

- ① 上方向
- ② 下方向
- ③ 車両前方向
- ④ 車両後方向
- ⑤ 車両右方向
- ⑥ 車両左方向



【調整方向】 回答欄